

街路樹

学力向上に向けて ⑦

=読書の習慣は一生の財産=

読書は唯一、人類が獲得した文化のひとつです。読書により、私たちは感性を働かせながら、楽しく知識を身に付けたり、ものを考えたりすることができます。しかも、新たな知識を得ようとするれば、本はあらゆる分野にまたがり、望む本を手に入れば比較的簡単に享受もでき、さらに公的な機関を利用すればそれほど費用もかからずに必要な知識や情報入手することができます。読書の習慣を身に付けるということは、一生の財産となる「国語力」でもあり、個人の楽しみのもにもなります。

また、読書は国語力を構成する「考える力」「感じる力」「創造する力」「表す力」「国語の知識」等のいずれにも関わり、これらの力を育てる上でも中核であることは「国語に関する世論調査」からも明らかであり、十分認識されていることであります。

しかしながら、子どもたちに「国語力」をつけるために「読書を通して学ばせること」の実践や工夫についてはいかがでしょうか。

例えば、歴史学習で、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康を対象に「三人の武将と天下統一」について学習するとします。仮に「この中で全国統一に一番活躍したのは？」という問題から、自分の予想に基づく調べ学習を進めるとすれば、「日本の歴史」「天下統一への道」「戦国大名」……などの本を中心に、自分が予想した武将が一番活躍した証拠を探そうと子どもたちが積極的に調べ学習に取り組むのではないのでしょうか。資料が不足であれば「総合型図書館(ラトブ)」等の公的機関との連携も可能です。

授業で図書資料の活用を工夫し、子どもに「国語力」をつけ、子どもの学びを広げたいものです。

授業の改善 ⑧

～板書・ノートの指導 そのI～

9月6日に実施した初任者研修(グループ研修「授業研修」)で実施した中で、～授業に生かす板書の工夫やノート指導などを通して～と題する講義の中で使用した資料から今回は「板書」に絞って、要点を紹介します。

板書は「子どもの学習理解を助け、思考活動を活発にする」ことをねらいとしています。そのためには、○見やすい黒板 ○正確な文字 ○美しい構成や配色 ○機能的な黒板 ○清潔な黒板等々に努めなければなりません。また、黒板には文字だけではなく、図、表、カード、写真、絵などを効果的に提示し、視覚的に理解を深め学習効果を高めるように心がけたいものです。

板書としては、子どもの発言の要旨、子どもの発言どうしの相関関係、学習のねらいの焦点化を図り学習全体を構造的にまとめることが必要です。

チョークは、白チョークを中心に使用し、強調したい部分や学習の中心となる部分には黄色や赤色のチョークを使用したものです。緑色、青色等のチョークは遠方からはほとんど目立ちません。チョークの色は視覚に訴えて、子どもの思考を助けるねらいがあります。さらに板書のタイミングについてお話ししますと、○間の取り方に注意する ○ポイントの板書に心がける ○話しながらの板書は避ける ○板書が学習活動の妨げにならないように注意する等々です。

最後に、効果的な板書のポイントについてまとめてみましょう。

- 事前に綿密な板書計画を立てて授業に臨む
- 子どもが読める大きさ、間隔をとってはっきりと書く
- 色チョークや記号等の記述に関する約束事を決めおく
- カードや写真、絵、図、グラフ等を効果的に活用する
- 板書と子どもの学習ノートとの連動をさせる
- 色弱の子どもへの配慮も忘れない

指導技術 ⑥

=自分から学習準備ができる子どもを育てるには=

ことごとく学習準備が遅れる子がいます。学習課題が確認され学習が展開されている中で、本やノートをやっと机の中から取り出したと思ったら鉛筆を削ったりしてスタートが非常に遅れる子がいます。このような子どもは課題にしたがい意欲的に学習するのは無理で、途中で授業が終わり、結局何も得ないで終わってしまうこととなります。学習への取り組む力が育っていないからです。学習準備の身につけ方にも個人差があります。なかなか身に付かない子はどこにでもいるものと思い、根気強くいねいに指導することです。「次の授業の教科書を机の上にそろえ授業が始まったら本やノートを開いて自分から勉強を始めている」といった基本をしっかりつけたいものです。このことは、学習の準備や教具の準備そして学習意欲や自発的な学習等など多方面に発展していく基になるものです。

研修の感想紹介

特別支援学級等教育講座

- 子どもの自立、先のことを見据えた実践の大切さを感じました。でも、現実には今現在直面している課題に目が向いてしまうことが多く、自分の視野が狭くなってしまっていることを自覚しました。(小・M)
- 高等部=社会へのスタートラインの立場から各年齢期に何を支援すべきか教えていただき、明日からの指導にそのまま生かすことができます。(小・W)
- 生徒との関わり合いの中から「できない」背景を考え、そこから関わり合いの仮説を立てて具体的な目標を設定することが大切だということが分かりました。(中・W)
- つい目先の学習内容に指導が偏ってしまうことが多いが、将来を考え社会人として生きていくために必要な物を学校生活の中の随所で指導していくことが大切だと感じました。(小・W)

プレゼンテーション作成講座

- 2時間があっという間に過ぎてしまいました。以前に研修していたはずなのに、分からないことばかりでした。(小・W)
- マウス1つ、パソコン1台あれば、こんなにも簡単にプレゼンテーションが作れる事が分かり、今後学校でも気軽にプレゼンテーションを作成してみようと思いました。(小・W)
- 普段は是非プレゼンテーションに取り組んでみたいと思っても、時間がとれずにはいたので、本日の研修で操作の仕方を知ることが出来、大変嬉しく思います。(中・M)
- 今回、見ている人の関心が高められるような効果的な方法を知ることができ、とても有益な研修でした。ありがとうございました。(中・W)
- 2時間半があっという間で。今まで知らなかったことがかなりあったし、今日の研修のおかげで沢山学ぶことが出来ました。(中・W)